

# 東北大学土木懇談会2024開催のお知らせ

本懇談会は、学生（主に修士課程1年生）が国・自治体・企業の諸先輩方に向けてポスター発表を行うことにより、自分の研究をアピールし、かつ参加者との対話により大学院における研究が活かされる場面や大学院時代に身に付けるべきスキルなどの情報を得ることを目的として企画されたものです。是非ご参加いただき、現役大学院生への叱咤激励を頂きますと幸いです。参加をご希望の方は、10月30日（木）までにお申し込みください。

日時：2024年11月8日14:00-17:00

場所：東北大学・災害科学国際研究所1階多目的ホール

参加費：3000円

発表テーマ（申し込み順）：

災害研アクセス情報はこちら→



- > 日本全域における老年人口を対象とした洪水氾濫・内水氾濫・斜面崩壊の曝露人口評価
- > 日本全国の河道内植生の発電量のポテンシャル評価
- > 2022年8月東北地方豪雨を対象とした気候変動による熱環境場変化に伴う線状降水帯の将来変化
- > 気候変動下の水道水源における藻類の毒素産生ポテンシャルの評価
- > 淡水域における生物多様性モニタリング技術の開発
- > 東日本におけるワイン用ブドウの栽培適地の要因分析と将来予測
- > 粒子法を用いた高精度浸透流解析の精度検証
- > 有限変形弾塑性モデルにおける整合接線係数テンソルの解析的導出法
- > 計算固体力学における量子アニーリングの適用性に関する基礎的検討
- > 防潮林の津波減衰効果評価を目的とした2次元浅水長波解析における慣性力の影響
- > XPIC MPMを用いた飽和土の流動・衝突解析の基礎的検討
- > 分散型サニテーションシステムにおける持続可能性向上のためのフレームワーク構築
- > 深海環境下におけるコンクリートの化学的劣化に関する熱力学的検討
- > 再液状化挙動に対する細粒分と液状化履歴の影響
- > 地盤の耐震性能評価のための原位置繰返しPM試験法の開発
- > 豪雨による高速道路切土法面の崩壊を機械学習で予測する
- > 海底地盤の液状化を考慮した浮体式洋上風力基礎の設計手法の開発
- > 繰返し弾塑性陽解法プログラムの構築と土・水連成解析によるしらす盛土の地震時崩壊挙動再現
- > 不飽和土を対象とした弾塑性モデルの構築
- > 粒子法を用いた攪拌混合シミュレーション
- > 高CO<sub>2</sub>濃度下で炭酸化養生したγ-C2S混合コンクリートの遮塩性の評価
- > 機械学習を用いて加速度記録のみから液状化を判定する手法の開発

参加申込は以下のアドレスもしくは右下のQRコードを用いて行ってください。

<https://forms.gle/B9E1QBwJBuodTepQ8>

問い合わせ先：

東北大学大学院工学研究科土木工学専攻長・佐野大輔

daisuke.sano.e1@tohoku.ac.jp

参加申込はこちら→

